

## 平成25年度搾乳牛放牧技術研修会開催要領

主催：一般社団法人日本草地畜産種子協会

### 1 目的

近年、配合飼料の原料であるとうもろこしや輸入粗飼料は新興国での需要増加、主産地における天候不順による産地価格の高騰や為替レートが円安傾向に転じたことから上昇傾向にあり、今後所得を確保するためには、生乳生産コストの太宗を占める飼料費等を大幅に低減する必要がある。

放牧は、一般的に生乳生産量が低下するため粗収益は低下するものの、飼料の低減効果が高く所得は向上する。さらに、飼養管理や環境対策に係る労働時間の大幅な低減により、ゆとりある酪農経営が可能となる。

このため、搾乳牛放牧技術の指導者及び放牧への転換を指向する酪農家等を対象に、搾乳牛放牧の講演及びフィールド研修を行い、搾乳牛放牧の普及・定着に資する。

2 日時 平成25年10月9日(水) 10:00～15:30

### 3 場所

#### (1) 講演

浜中町農業協同組合会議室

〒088-1364 北海道厚岸郡浜中町茶内栄 61

TEL：0153-65-2121

#### (2) フィールド研修

##### ① 株式会社酪農王国

〒088-1363 北海道厚岸郡浜中町姉別

TEL：0153-68-6250

##### ② 二瓶 昭 牧場

〒088-1500 北海道厚岸郡浜中町茶内昭和

TEL：0153-65-2869

### 4 日程

#### (1) 講演(10:00～12:10)

##### ① あいさつ

10分(10:00～10:10)

##### ② 「放牧の経済的有利性」(仮題)

60分(10:10～11:10)

(一社)日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー

須藤 純一 氏

(酪農学園大学特任教授)

##### ③ 「搾乳放牧の技術 —搾乳牛放牧の基本、草地の管理、飼料の給与—」(仮題)

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

上席研究員 須藤 賢司 氏

60分(11:10～12:10)

－ 昼食・移動 －

60分(12:10～13:10)

(2) フィールド研修 (13:10～15:30)

① 株式会社 酪農王国

60分 (13:10～14:10)

「大規模放牧経営における経営管理等について」

－ 移動 －

20分 (14:10～14:30)

② 二瓶 昭 牧場

60分 (14:30～15:30)

「少牧区草地の管理、草種の見分け方等について」

(一社) 日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー

須藤 純一 氏

(独) 北海道農業研究センター

須藤 賢司 氏

二瓶 昭 牧場

二瓶 昭 氏

(3) 閉会 (フィールド研修現地解散)

15:30

5 参集範囲

放牧の現地指導にあたる農協、市町村、農業改良普及センター、都道府県草地・畜産担当者、集約放牧を始めようとする農家等

6 申込方法

別添「申込書(10月1日(火)締切)」による。なお、会場の収容人数の都合で人数を制限する場合があります。

7 その他

(1) フィールド研修場所へはバスを運行します。

(2) フィールド研修場所にて解散後、バスは浜中町農協まで戻ります。

(3) ブーツカバーは用意します。